



SUPERBIKE RACE in MOTEGI

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2023 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦

■宮城県 ■スポーツランドSUGO ■1周=3,621km
 ■5月20日(土) 天候:雨のち曇 コース:ウエット・ドライ
 ■5月21日(日) 天候:晴れ時々曇 コース:ドライ

JSB1000 #9 関口 太郎

■マシン / BMW M1000RR
 ■タイヤ / BRIDGESTONE

RACE 1

予選 21番手 (タイム:1分42秒748)
 決勝 DNF

RACE 2

予選 19番手 (タイム:1分42秒870)
 決勝 12位

J-GP3

#29 高平 理智

予選 3番手 (タイム:1分41秒217)
 決勝 12位

観客動員数: 8,300人 (2日間合計)





宮城県・スポーツランドで迎えた全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦。前週には、事前公開テストが快晴のもとで行われた。今シーズンから、さらに速く走るために新たなマシンセットを探っているのだが、なかなかいいフィーリングが得られないままレースウィークに入ることになっていた。

走り始めとなった金曜日は、1本目がウエット、2本目がドライと異なるコンディションのもとマシンセットを進めていくが、うまく機能させられないままだった。また、今回から再びカーボンニュートラル燃料を使用するため、それに合わせたセットも行わなければならなかった。



とはできなかったが、ウエットでもドライで悩んでいたことが出たので、同じ方向性でドライとなったレース1に臨むことにした。

グリッドに並んだ関口だったが、ウォーミングアップ走行に出る際、ブレーキがロックしてしまいタイヤウォーマーが外れないトラブルが発生。ギリギリ間に合うことができレース1が始まったが、ブレーキの確認をウォーミングアップ走行でしていたため、タイヤに熱を入れることができなかった。スタートは、うまく決まったが、2、3周はタイヤに熱が入るのを確認するために、慎重な走りに徹していた。そんな状態でも1台、また1台と前を走るライダーをかわしポジションを上げていく。しかし、9位争いの集団に追いついたところでマシントラブルが発生してしまいタイヤを余儀なくされてしまう。2020年シーズンからBMWでJSB1000クラスを戦っているが、初のノーポイントレースとなっていた。ただ、トラブルが出るまでのフィーリングはよかったため、レース2に向けてマシンは変更することなく臨むことにしていた。

J-GP3クラスの高平は、事前公開テストで初めてSUGOを走ったにも関わらず、ウエットコンディションからレコードライン上が乾いていく難しいコンディションとなった公式予選で速さを見せた。セッション序盤から上位につけると最終的に3番手となりフロントロウを獲得。混戦となった決勝でも粘り強い走りを見せ12位でゴール。全日本初ポイントを獲得して見せた。



新たな方向性が見えたSUGOラウンド

予選は得意なコンディションだったこともあり3番手につけることができ、全日本でも通用することが分かりました。決勝は、ドライとなり、持ちタイムが足りていないのは分かっていたので厳しいレースになりました。赤旗中断があり、第2レースでは、

感触もよくなり自己ベストを更新することができました。ポイントを獲得できましたが、目指している順位は、もっと上なので、次回の筑波で実現できるように頑張ります。筑波でも応援よろしくお願いたします。

高平 理智

土曜日も朝から雨が降り、公式予選はウエットコンディションでのタイムアタックとなった。コースインするとグリップ感が出ず大苦戦。ピットインアウトを繰り返しマシンセットを変更していくと、セッション終盤でようやく、いいフィーリングを感じられるようになってきていたが、そこで時間切れとなっていた。順位を思うように上げるこ

日曜日は朝から快晴となり気温も上がったが、レース序盤から攻めの走りができていた。岩田選手と11位争いを繰り広げ、レース終盤に伊藤選手が追い上げてくる。最終ラップは、伊藤選手が岩田選手に馬の背コーナーで仕掛けていき、岩田選手がオーバーラン。関口は一つポジションを上げる形となり12位でチェッカーを受けた。



今回もSUGOに駆けつけてくださったスポンサー様、ファンの皆さん、応援してくださっている全ての皆様に感謝いたします。事前公開テストからレースウィークに入っても流れは、よくなかったのですが最後は、いいフィーリングを得て終わることができました。ずっと悩んでいたサスペンションセッティングもウエットコンディションでいろいろ試したことで答えが見つかったので、鈴鹿8耐やシーズン後半戦に向けて大きな収穫になりました。支えてくれたチームスタッフのおかげですね。もっとライディング面でも進化できるように頑張ります。

関口 太郎